

授業でも！ つかえる **ちゃぐりん**

VOL.113



◇記事名：『ちゃぐりん』2022年9月号 10～13ページ

ちゃぐりんあぐりスクール

◇対象：総合的な学習の時間(3年生～6年生)・社会科(3年生～5年生)

遠く離れた地域のことを知るには具体的な資料があると効果的です。その点においても農産物は優れています。今回は、日常生活には欠かせない砂糖、その原料となるサトウキビが地域を繋いでくれます。最近では、ICT環境も整ってきており、リモート学習も強力な手立てとなります。サトウキビを通しての交流や、暖かい地方の暮らしについての学習を提案します。

文・藤本勇二(武庫川女子大学 准教授)

1:砂糖で交流学習(3年生～6年生 総合的な学習の時間)

『ちゃぐりんあぐりスクール』の記事で、沖縄県の小学生が地域の特産品を紹介するリモート交流会の様子が紹介されています。これをヒントに、砂糖つながりで沖縄県と北海道で交流を行ってはどうでしょうか。記事では、サトウキビが沖縄や鹿児島などの暖かい地域で栽培されていることについて絵を使って紹介しています。北海道の子どもたちからは「テンサイ」、沖縄県の子供たちからは「サトウキビ」というように、砂糖の原料を紹介し合うことで交流学習が成立するだけでなく、砂糖という共通点を認識することで交流もより深まることでしょう。

農産物は、交流学習をするにあたって、共通点や地域による違いを示すとても優れた教材となります。例えば、米は日本各地で栽培されていますが、品種が違います。地域のJAの代表的な農産物や伝統野菜も同じ視点があります。コロナ禍で直接体験をすることは難しくなりましたが、ICTを通じて遠く離れた地域との交流を行うといった新しい食農教育の可能性も見えてきましたし、すでに実践されているJAもたくさんあります。

地域のJAと協力をしながら、リモート交流会が今後さらに広がっていくことが大いに期待されます。

2:暖かい地方の暮らし(5年生 社会科 自然条件と人々の生活)

子どもたちにサトウキビを見せただけで、「なんだろう」、「竹みたいだな」、「見たことあるよ」、「サトウキビ?」と、どんどん言葉が出てくるに違いありません。さらに砂糖の原料となる「サトウキビ」だということがわかると、「ほんとに甘いのかな」、「食べてみたい」、「このサトウキビからほんとうに砂糖ができるのかな」、など様々な疑問が生まれてきます。まさに『ちゃぐりんの』記事の通りの子どもの反応が見られることでしょう。社会科の授業では実物を用いることで大変効果があります。このサトウキビの実物を通して、暖かい地方の暮らしの学習にも応用ができます。沖縄県の気温や湿度が高いという気候の特色に合う、サトウキビを栽培していることを知った子どもたちは、沖縄県の気候の様子をはじめ人々の生活や産業の様子についても関心が高まります。

3:昔のおやつ(3年生 社会科 うつりかわる市とくらし)

サトウキビといえば沖縄県や鹿児島県をイメージしますが、昭和30年代までは本州の太平洋沿岸部、四国や九州で栽培されていたようです。現在も和三盆の産地として知られる香川県や徳島県の他に、日本各地でもサトウキビの栽培と砂糖作りが行われています。地域の高齢者の方の中には、かつて砂糖作りを見たり、おやつがわりにサトウキビを食べたという経験を持つ方もいるようです。発展的な学習として、高齢者の方から昔のおやつについてお話を聞く学習につなげることもできます。また地域の資料館にサトウキビから砂糖を絞る圧搾機の展示があるかもしれません。こういった道具を授業で取り上げてよいでしょう。



JAグループの食農教育を
すすめる子ども雑誌

Child Agriculture Green

子どもたちに伝えたい!

2022年10月号

ちゃぐりん おすすめ記事

ボリューム満点！野菜ステーキ

掲載ページ:P10-13



今月号の「食&農特集」は、野菜のうまみを味わえる野菜ステーキ。切って焼くだけで手軽にできて、見た目も食べ応えも抜群！ チーズやマヨネーズを使ったたれで、野菜が苦手な子どもでも食べやすい味付けです。秋野菜がおいしいこの季節に、ぜひ作って食べてみてください。

小島よしおの研究室へGO!GO!

掲載ページ:P14-17



10月15日は『きのこの日』です。色や形もさまざまなキノコですが、『森のそうじ屋さん』と呼ばれたり、薬としてのすごい効果を秘めているとか…？ 小島よしおさんが『キノコ博士』こと江口先生から、キノコのディープな話をうかがいます。

あっぱれ おもしろやさい塾

掲載ページ:P20-26



タイ料理やベトナム料理に欠かせないパクチーですが、栽培はさほどむずかしくありません。肥料をやり続ければ長く収穫もできて、葉だけでなく根も食べられます。新鮮なパクチーで、料理をおいしくいただきます。

ガールスカウトクラフトクラブ

掲載ページ:P150-151



木の枝がおしゃれな小物に大変身！好きな色の毛糸で枝を結んで、麻糸を網のように結べば完成。きれいな落ち葉を飾ったり、お気に入りの写真やカードを挟んでも素敵です。木のぬくもりがうれしい、インテリアにぴったりの作品です。

★ 配信中のコンテンツ ★

「ちゃぐりん」食農クイズ

毎月の『ちゃぐりん』の中から、食や農にまつわるクイズを10問出題しています。



食農教育紙芝居

紙芝居コンクール入選作品の紹介や、小島よしおさん演じる紙芝居の動画が見られます。



11月号予告 キノコたっぷり炊きこみごはん・・・炊飯器で簡単にできる炊き込みご飯の作り方をご紹介。

JAグループ (一社) 家の光協会